



☆6月の近隣施設ご案内☆

令和2年6月

| | |
|---|---|
| 伊藤幼稚園 3775-8028 西大井5-22-8 | ☆地域園庭開放 4日(木)・11日(木) ☆未就園児交流会 8日(月)・22日(月) *新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更または中止となる場合がございます。ご利用の際はお電話にてお問い合わせください。 |
| 滝王子児童センター 3771-3885 大井5-19-14 | 予定なし(新型コロナウイルス感染拡大防止のため) 変更になる場合がございますので、お電話にてお問い合わせください。 |
| 伊藤児童センター 3771-1311 西大井6-13-1 | 予定なし(新型コロナウイルス感染拡大防止のため) 変更になる場合がございますので、お電話にてお問い合わせください。 |
| 大井図書館 3777-7151 大井5-19-14 | 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、5月31日まで臨時休館。 5月31日以降の予定は未定のため、ご利用の際はお電話にてお問い合わせください。 |
| ウェルカムセンター原・交流施設 5742-4660 西大井2-5-21 | 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、5月31日まで臨時休館。 5月31日以降の予定は未定のため、ご利用の際はお電話にてお問い合わせください。 |
| 西大井いきいきセンター 5718-1330 西大井2-5-21 | 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当面の間は臨時休館をしています。 開館時期は未定のため、ご利用の際はお電話にてお問い合わせください。 |

伊藤小学校の校名の由来

伊藤小学校の正門に校名由来の説明板が設置されました。校名が初代内閣総理大臣伊藤博文公に由来していることをもっと地域の皆様や子どもたちに知ってほしいという願いから、品川区教育委員会に設置していただきました。

伊藤小学校の学区内に伊藤博文公の墓所があるので、伊藤小学校の4年生と6年生、伊藤幼稚園の年長組はボランティア清掃に行っています。広大な敷地の中の立派なお墓に子どもたちは驚き、伊藤博文公の功績の素晴らしさを実感します。また、伊藤博文公の肖像画の千円札に対しても、目を見張ります。このように、伊藤小学校の子どもたちは伊藤博文公に親近感を持っているので、4年前の開校80周年の時に募集した伊藤小学校のマスコットに伊藤博文がモチーフとなった「いとじい」が登場しました。伊藤小学校に通っている様子を出すために、伊藤小学校の校帽をかぶっています。伊藤小学校という校名が地域の歴史を知るきっかけにもなっています。



伊藤小学校付近の古い地名の中では、「谷垂」や「金子山」、公園や跨線橋の名前になっているので、よく知られています。その他にも「篠谷」という地名があったようです。伊藤小学校にはその名前の由来となった篠竹が残っているので、「篠谷の由来」の説明板も校内に設置されました。

これからも地域に親しみや愛着をもつ子どもを育てていきたいと思ひます。地域の皆様も伊藤小学校の名前の由来を見に来ていただくと嬉しいです。

(伊藤小学校校長 宮崎朋子 記)



編集 大井鹿島町会・大井庚塚町会・出石町会・西大井二丁目町会・西大井四丁目町会・西大井五丁目伊藤町会
西大井六丁目町会・大井第一小学校PTA・伊藤学園PTA・伊藤小学校PTA・富士見台中学校PTA

お〜い

令和2年 No.224

6月号

「お〜い」編集委員会

品川区西大井 4-1-8
大井第三地域センター内
☎ 3773-2000

大井第三地区の皆様、2年間よろしくお願ひします！

大井第三地区町会連合会 佐賀崇宏会長

大井第三地域の皆様には、日頃から高齢者・子どもたちの見守り、防犯・防災・交通等安心安全の為に、ご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「緊急事態宣言」の発令を受け、外出自粛を余儀なくされ、楽しみにしておりました集会や催し物が、延期・中止になり再検討され、大変残念に思っております。また、最近関東地方に頻りに地震が起きております。この時期に首都直下地震が起きたら、新型コロナウイルスとどのように対処したらよいか、地域全体で取り組んでいく必要があります。

今後とも連携を取りながら、皆様方と一緒に頑張りまいますので、ぜひご協力をお願いいたします。

(大井第三地区町会連合会会長 佐賀崇宏 記)



青少年対策大井第三地区委員会 山崎勝美会長

大井第三地区委員会会長の山崎です。毎年「親子で楽しめる」イベントを行ってききましたが、新型コロナウイルスの影響で前半の予定を中止にすることになりました。子どもたちの笑顔が見られないのはとても残念ですが、命には代えられません。

学校も休校が続く中、子どもたちが一番つらい思いをしていると思ひます。感染予防対策をしっかり行い、一日も早く笑顔あふれるイベントを開催できることを願っています。絶対その日はやって来ます。そのためにも今は「がまん」しましょう。

(青少年対策大井第三地区委員会会長 山崎勝美 記)

